

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模大野7丁目プロジェクト 新築工事	階数	地上15F
建設地	神奈川県相模原市南区相模大野7丁目721番5、721番6	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	98人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年5月30日
敷地面積	732㎡	作成者	㈱ガイ・プランニング
建築面積	280㎡	確認日	2020年5月30日
延床面積	2,265㎡	確認者	㈱ガイ・プランニング

外観バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.9

項目	スコア
音環境	3.2
温熱環境	1.8
光・視環境	3.0
空気質環境	4.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

項目	スコア
音環境	3.2
温熱環境	1.8
光・視環境	3.0
空気質環境	4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

項目	スコア
機能性	3.6
耐用性	3.0
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

項目	スコア
生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.3

項目	スコア
建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

項目	スコア
建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

項目	スコア
水資源	3.0
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

項目	スコア
地球温暖化	3.7
地域環境	2.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	躯体の耐久性向上を基本に、緑化、景観など標準的な取り組みをした共同住宅としている。
その他	
Q1 室内環境	室内騒音レベルを押さえ、遮音性を高める建築基準法を満たし、建築基準法規制対象外となる建築材料をほぼ全面的に採用する
Q2 サービス性能	維持管理用機能の確保において、充実した取り組みが行われるよう配慮する
Q3 室外環境(敷地内)	建物空地に可能な限り植栽を配し、屋外環境に配慮している。
LR1 エネルギー	住戸内に標準的な断熱材を施工している。
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材を容易に分離可能なLGS工法を採用し、資源の再利用に配慮している。またリサイクル材の使用に配慮している。
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車スペースを確保し、導入路も6mと広く取り同時にすれ違えるよう配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される